

**スマホは、電話もあるネット活用の道具**

携帯電話の代わりにスマートフォンを持つ人が増えています。「見た目の違いは分かるけれど、スマートフォンって結局なんなの？」と疑問に思う人はまだまだいるでしょう。今回は、そんなスマートフォンの基本を解説します。

☎ スマートフォンと携帯電話の違いをひとこと  
 というと、スマートフォンは「電話機能を持つコンピュータ」である、ということです。

(図上)。電話の機能はありますが、中心となる機能は電子メールやウェブサイトといった、インターネットのいろいろなサービスをフル活用できるようにすること。パソコンで作った書類の修正や、表示がダイナミックに切り替わるウェブサイトの表示もこなします。

主流のスマートフォンは、本体の大部分を画面が占め、それを直接タッチして操作します。

これは、画面を広く取って表示できる情報量を増やし、縦横どちら向きの表示でも操作できるようにするため。電話番号を入れる数字キーや、メール本文などを打つ文字キーは、必要な時に画面に表示されるので困

りません。  
 小さいながらパソコンに近い性能を持ち、OS(基本ソフト)の上で「アプリ」と呼ばれる各種のソフトを切り替えて、さまざまな用途をこなします。

☎ スマートフォンの種類は、搭載されているOSで大別されます。日本では iPhone(アイフォーン)と Android(アンドロイド) スマートフォンの2種類が中心です(図下)。

☎ iPhone は、OS、端末、アプリの配信サービスなどをアップル1社で提供しています。使い勝手が良く、実用的なアプリが多いので人気があります。

☎ 一方、Android はOSとアプリ配信などの基本サービスをグーグルが提供しますが、端末は世界中のメーカーが作っています。通信事業者ごとに独自の工夫やサービスを盛り込むことも可能で、端末の選択肢が広いのが特徴です。

☎ スマートフォンは、高度に制御することも可能な反面、パソコン同様にセキュリティ対策が必要です。

